



第37期（平成27年3月期） 決算説明会資料

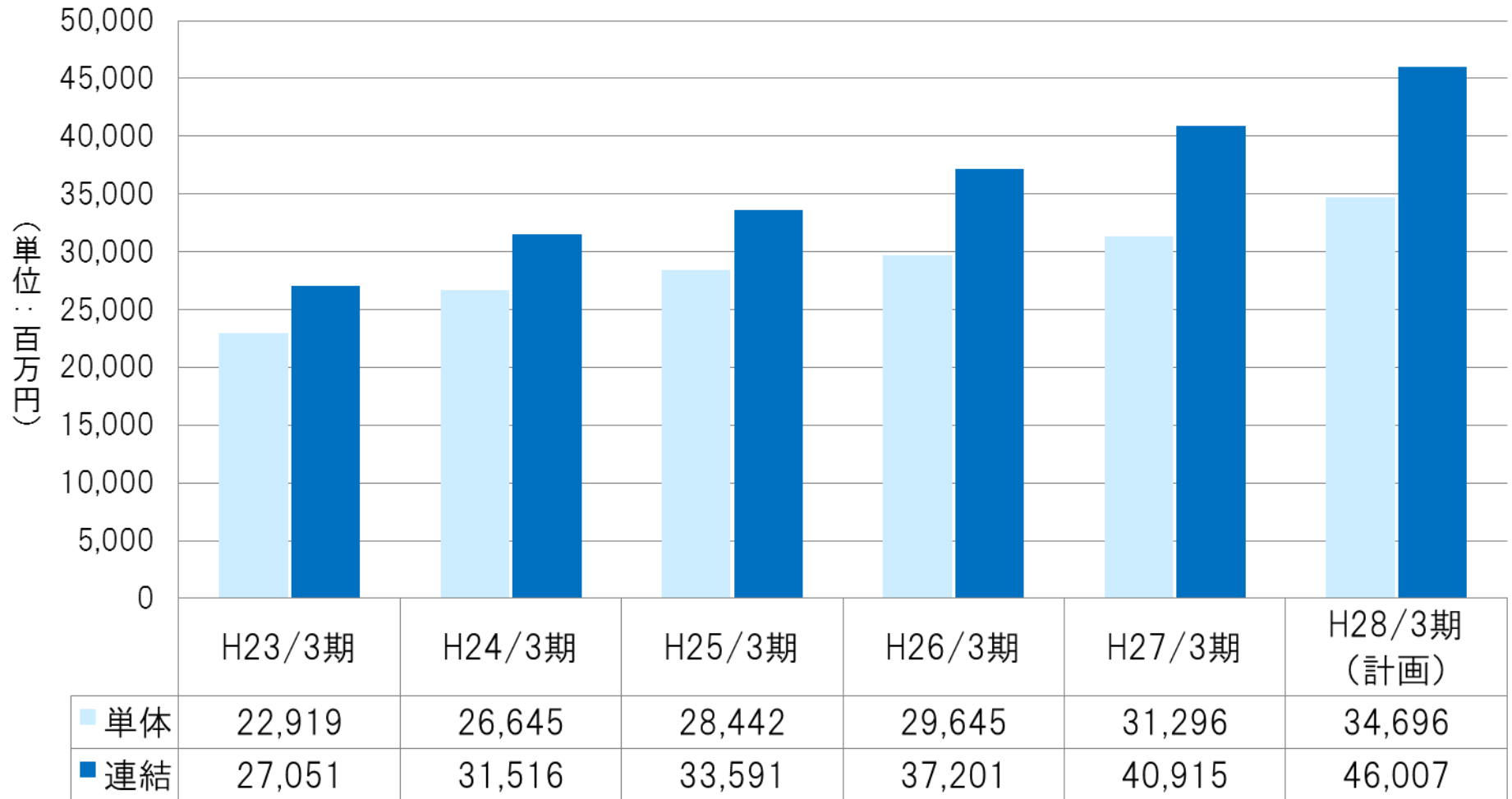
平成27年5月14日



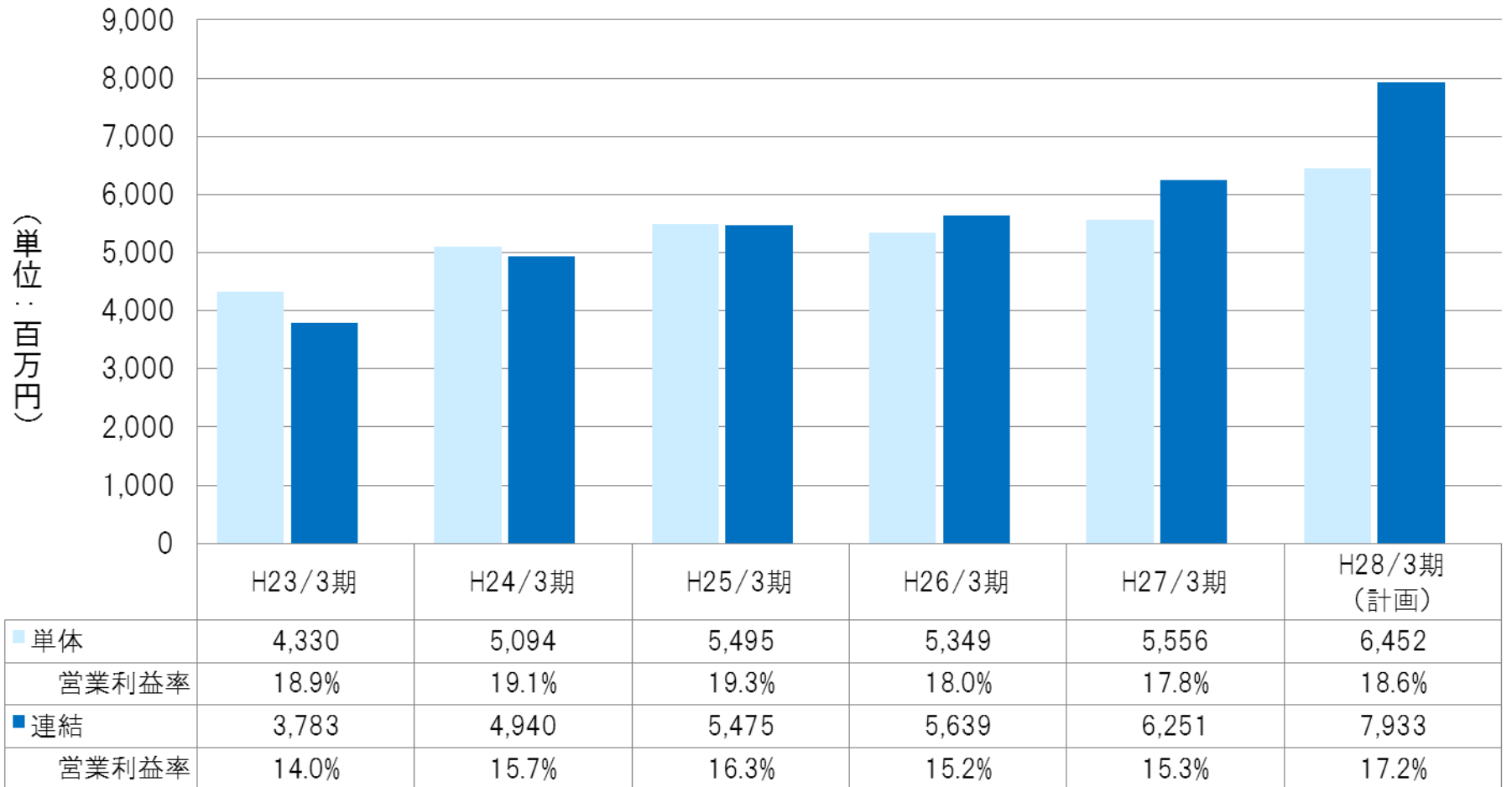
目 次

- | | |
|------------------------------------------|----------------------|
| 02. 売上高の推移（単体・連結） | 11. 地域別実績（連結） |
| 03. 営業利益の推移（単体・連結） | 12. 地域別計画（連結） |
| 04. 経常利益の推移（単体・連結） | 13. 今後の事業計画 ① |
| 05. 当期純利益の推移（単体・連結） | 14. 今後の事業計画 ② |
| 06. 前期比較 単体事業の概要 | 15. メモ |
| 07. // （利益変動要因） | 16. 設備投資の推移（連結・単体） |
| 08. 計画比較 単体事業の概要 | 17. 減価償却費の推移（連結・単体） |
| 09. // （利益変動要因） | 18. アリアケグループ「世界7極体制」 |
| 10. 主要子会社の概要 | |

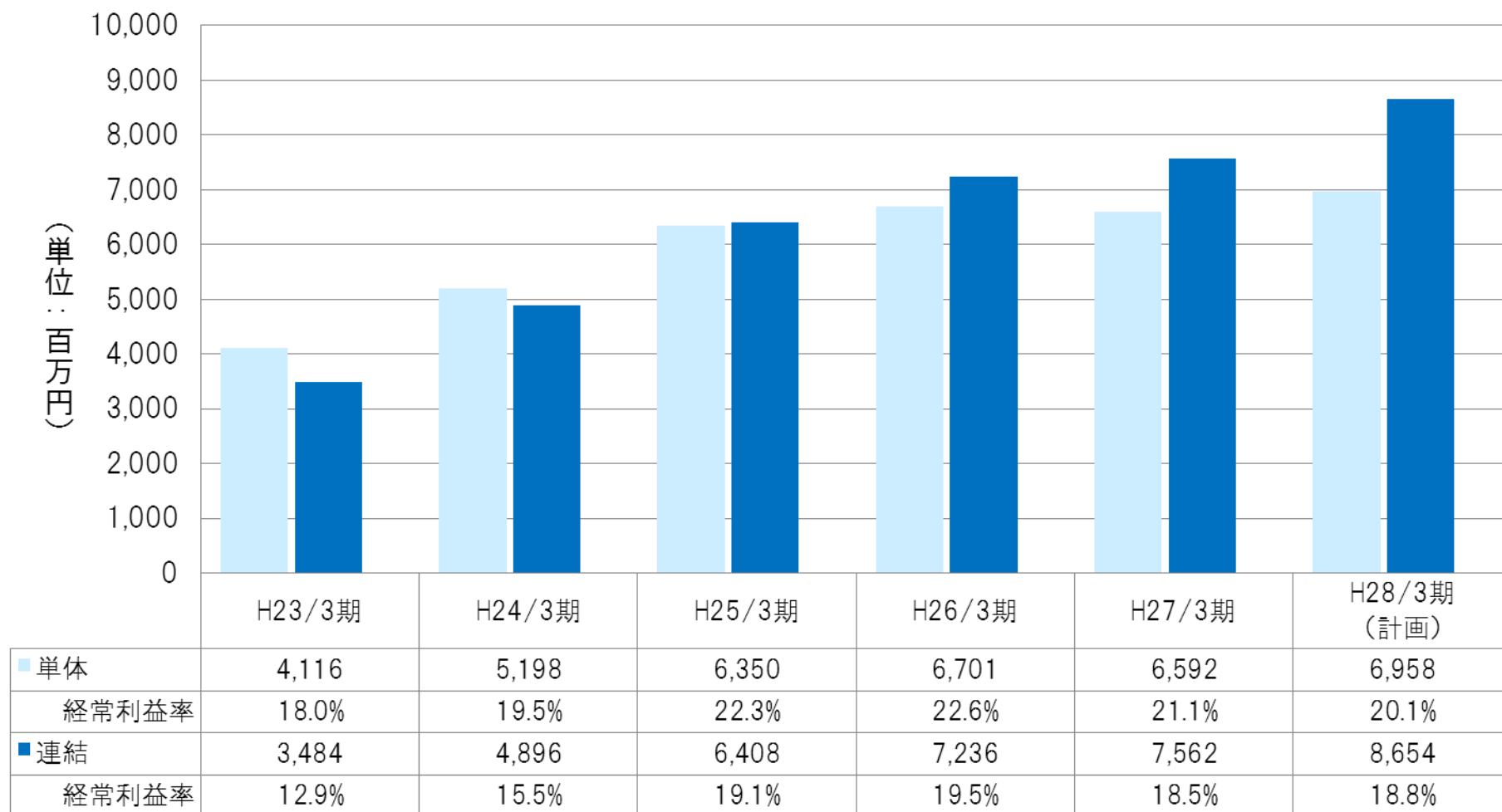
売上高の推移（単体・連結）



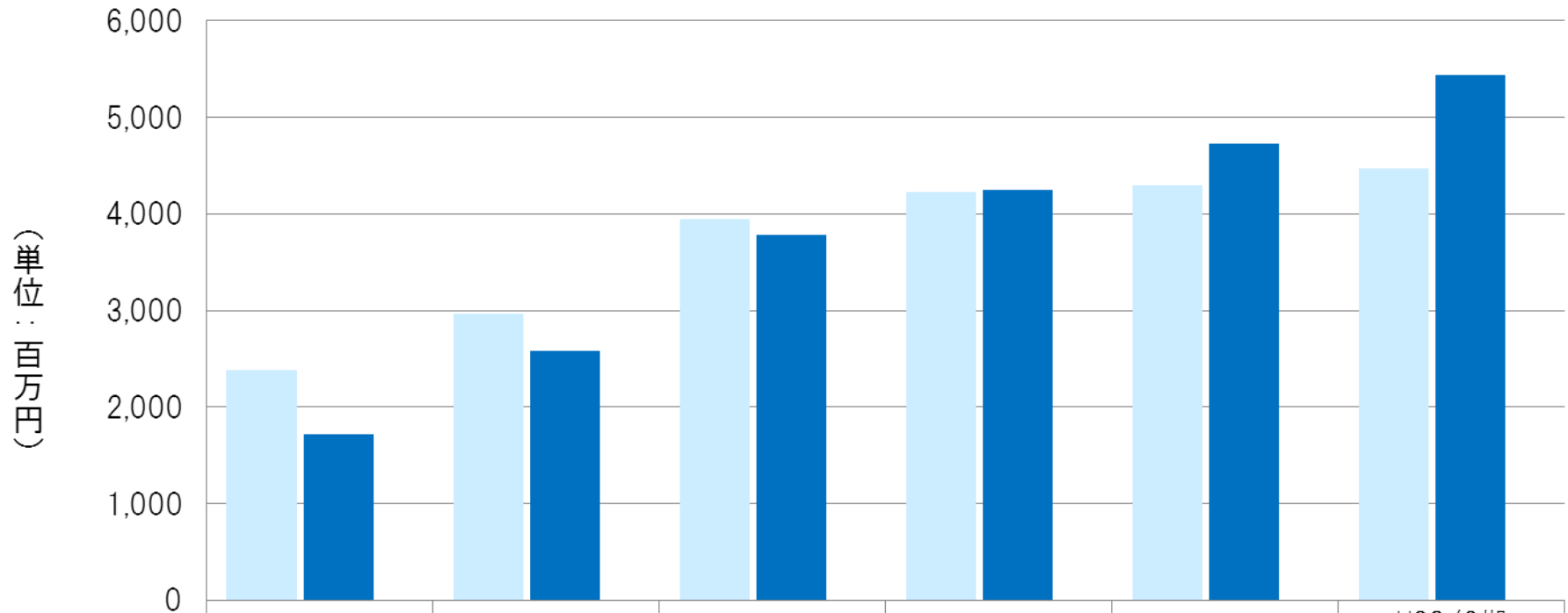
営業利益の推移（単体・連結）



経常利益の推移（単体・連結）



当期純利益の推移（単体・連結）



	H23/3期	H24/3期	H25/3期	H26/3期	H27/3期	H28/3期 (計画)
■ 単体	2,382	2,967	3,948	4,224	4,299	4,477
当期純利益率	10.4%	11.1%	13.9%	14.3%	13.7%	12.9%
■ 連結	1,716	2,586	3,788	4,252	4,725	5,439
当期純利益率	6.3%	8.2%	11.3%	11.4%	11.5%	11.8%

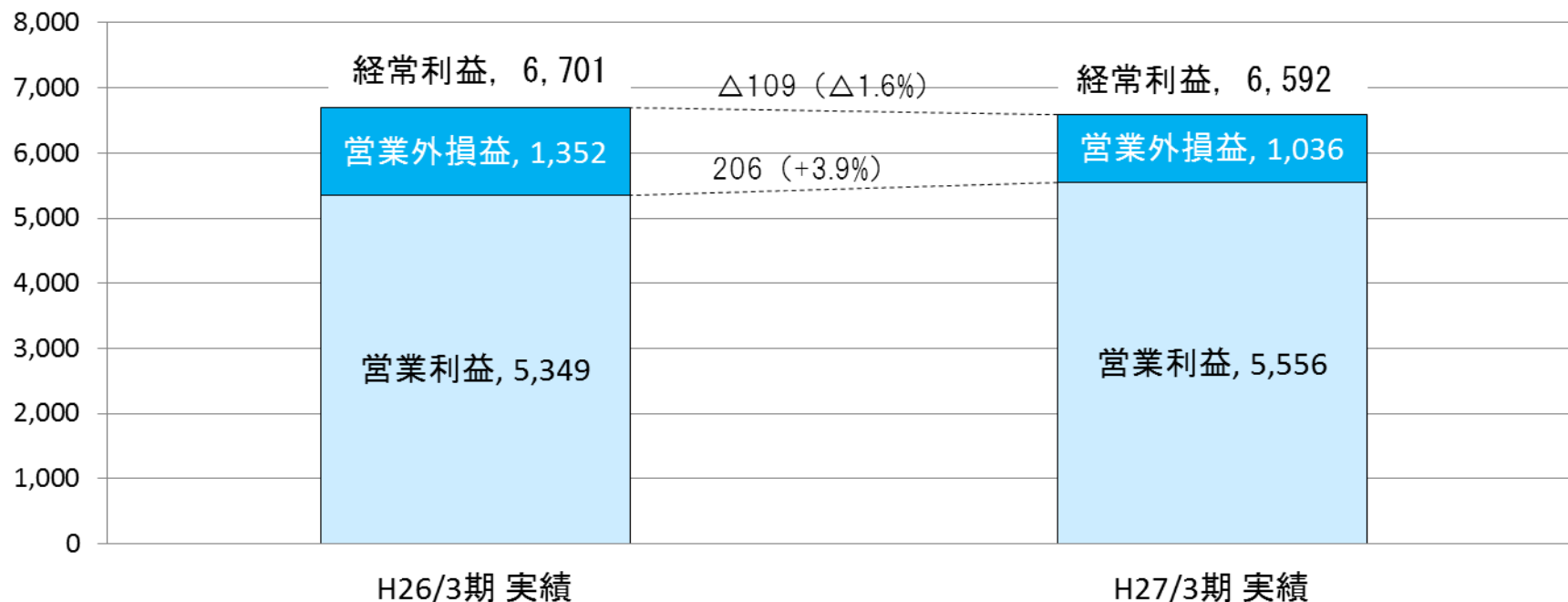
【前期比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は31,296百万円、前年同期比1,650百万円増(5.6%増)となりました。

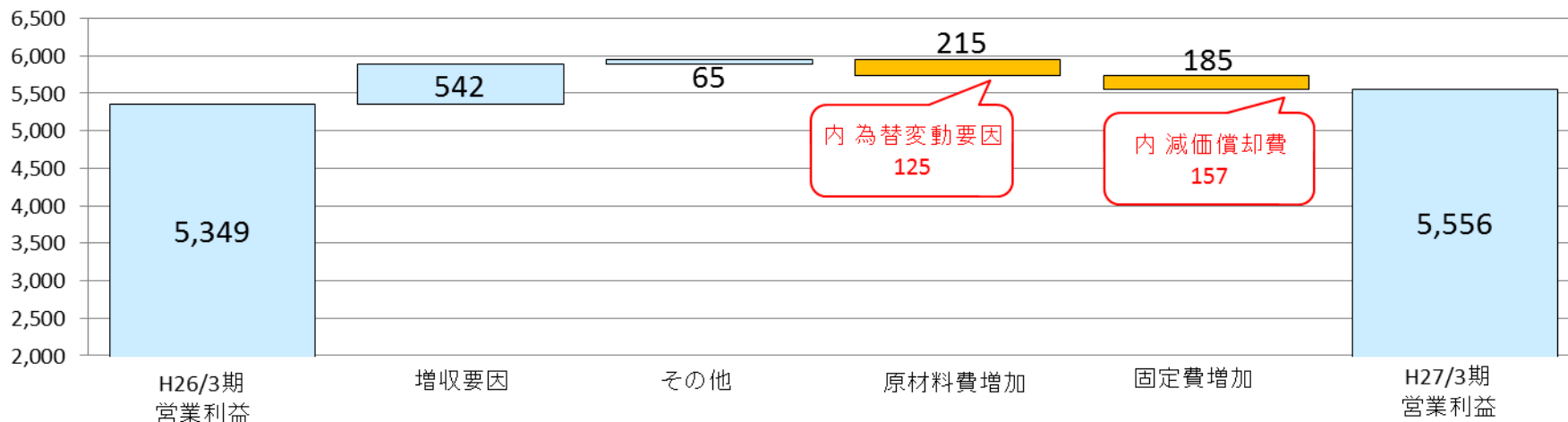
■利益

(単位：百万円)



【前期比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 …前年比206百万円(3.9%)増加の5,556百万円



■ 経常利益 …前年比109百万円（1.6%）減少

（単位：百万円）

減少要因	デリバティブ評価益の減少	△575
	デリバティブ評価損の増加	△198
	その他	△50
増加要因	為替差益	491
	営業利益増加	206
	受取利息・配当金	17

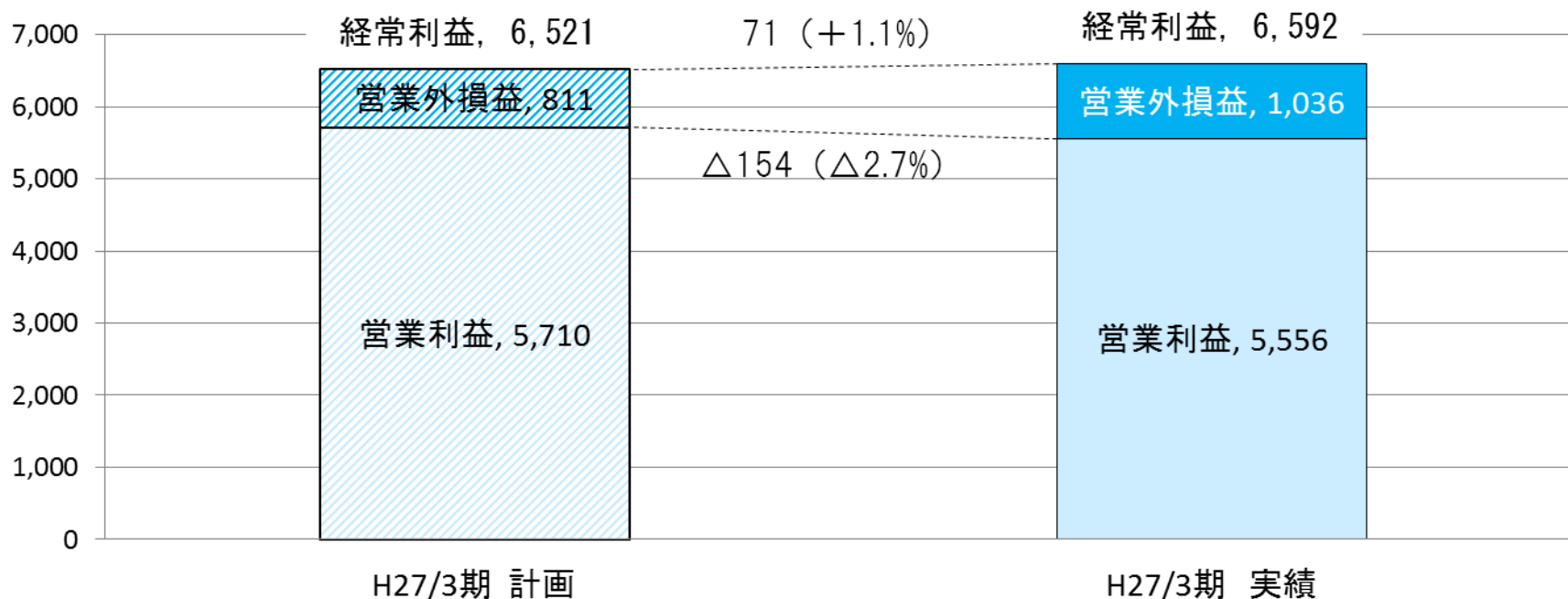
【計画比較】 単体業績の概要

■売上高

単体の売上高は計画比385百万円の減少となりました。

■利益

(単位：百万円)



【計画比較】 単体業績の概要（利益変動要因）

■ 営業利益 …計画比154百万円(2.7%)減少の5,556百万円

(単位：百万円)



■ 経常利益 …計画比71百万円 (1.1%) 増

(単位：百万円)

減少要因	営業利益減少	△153
増加要因	デリバティブ評価を含む為替差損益改善	211
	その他	13

主要な子会社の概要

□ 主要子会社

◆ 米国

年初の寒波及び加工食品向け売上の立ち直りが遅れたものの、後半に回復し増収。一方、燃料費・原材料費のコスト増の影響で減益となりました。

◆ アジア

中国は増収増益でしたが、計画は下廻りました。
台湾は増収増益、計画も達成しました。

◆ 欧州

増収かつ営業損失も減少しました。ベルギーは一部合理化によるコスト削減を実施しました。フランスは欧州域内の需要に応える新製品増産の体制を構築しました。一昨年秋に買収したオランダの会社の売上高(16億円)および利益(2.5億円)は年間寄与しました。

◆ 日本

日本の子会社は計画を達成しました。

地域別実績（連結）

（単位：億円）

	売上高					営業損益				
	平成 27/3期 (A)	平成 26/3期 (B)	差額 (A-B)	平成 27/3期 計画(C)	差額 (A-C)	平成 27/3期 (A)	平成 26/3期 (B)	差額 (A-B)	平成 27/3期 計画(C)	差額 (A-C)
アリアケシヤハ ^ン	313.0	296.5	16.5	316.8	▲3.8	55.6	53.5	2.1	57.1	▲1.5
子会社計※	96.2	75.5	20.7	101.9	▲5.7	7.0	2.9	4.1	12.5	▲5.5
米 国	27.0	25.5	1.5	28.2	▲1.2	3.1	4.5	▲1.4	5.6	▲2.5
ア ジ ア	36.3	30.0	6.3	37.5	▲1.2	8.2	6.2	2.0	8.4	▲0.2
欧 州	29.3	16.3	13.0	32.8	▲3.5	▲4.5	▲8.0	3.5	▲1.6	▲2.9
日 本	3.6	3.7	▲0.1	3.4	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1
合 計	409.2	372.0	37.2	418.7	▲9.5	62.6	56.4	6.2	69.6	▲7.0

※ 子会社は連結調整後

地域別計画（連結）

（単位：億円）

	売上高			営業損益		
	平成28/3期 計画 (A)	平成27/3期 実績 (B)	差 額 (A-B)	平成28/3期 計画 (A)	平成27/3期 実績 (B)	差 額 (A-B)
エリアケシ`ャハ`ン	347.0	313.0	34.0	64.5	55.6	8.9
子会社計※	113.1	96.2	16.9	14.8	7.0	7.8
米 国	36.2	27.0	9.2	4.7	3.1	1.6
ア ジ ア	44.0	36.3	7.7	8.9	8.2	0.7
欧 州	29.1	29.3	▲0.2	1.0	▲4.5	5.5
日 本	3.8	3.6	0.2	0.2	0.2	0.0
合 計	460.1	409.2	50.9	79.3	62.6	16.7

※ 子会社は連結調整後

今後の事業計画①

(単位:億円)

		平成24/3期 実績	平成25/3期 実績	平成26/3期 実績	平成27/3期 実績	計 画		
						平成28/3期	平成29/3期	平成30/3期
売上高	単 体	266	284	296	313	347	367	387
	連 子 会 結 社	65	74	96	124	143	173	205
	連 結 調 整	▲16	▲23	▲20	▲28	▲30	▲30	▲30
	連 売 上 結 高	315	335	372	409	460	510	562
営業損益	単 体	51	54	53	56	65	69	74
	連 子 会 結 社	△2	0	3	7	15	24	33
	連 営 業 損 益 結 益	49	54	56	63	79	93	106

今後の事業計画②

(売上高はいずれも連結調整前のものです)

1. アリアケジャパン株式会社

国内での新たなマーケットにも注力し平成29年3月期の売上高は367億円を目指します。平成30年3月期の売上高は387億円を計画しており営業利益率は19%を予想します。

2. 米 国

営業を強化し加工食品向けその他、外食向けに拡販中、戦略的投資も視野に積極的な展開を図ります。平成29年3月期の売上高は64億円、平成30年3月期の売上高は76億円を目指します。

3. アジア

中国は、各業種にわたって売上を伸ばし、平成29年3月期の売上高43億円、平成30年3月期は53億円を目指します。

台湾は、需要が旺盛な外食向けの販促を強化し、平成29年3月期の売上高24億円、平成30年3月期は30億円を目指します。

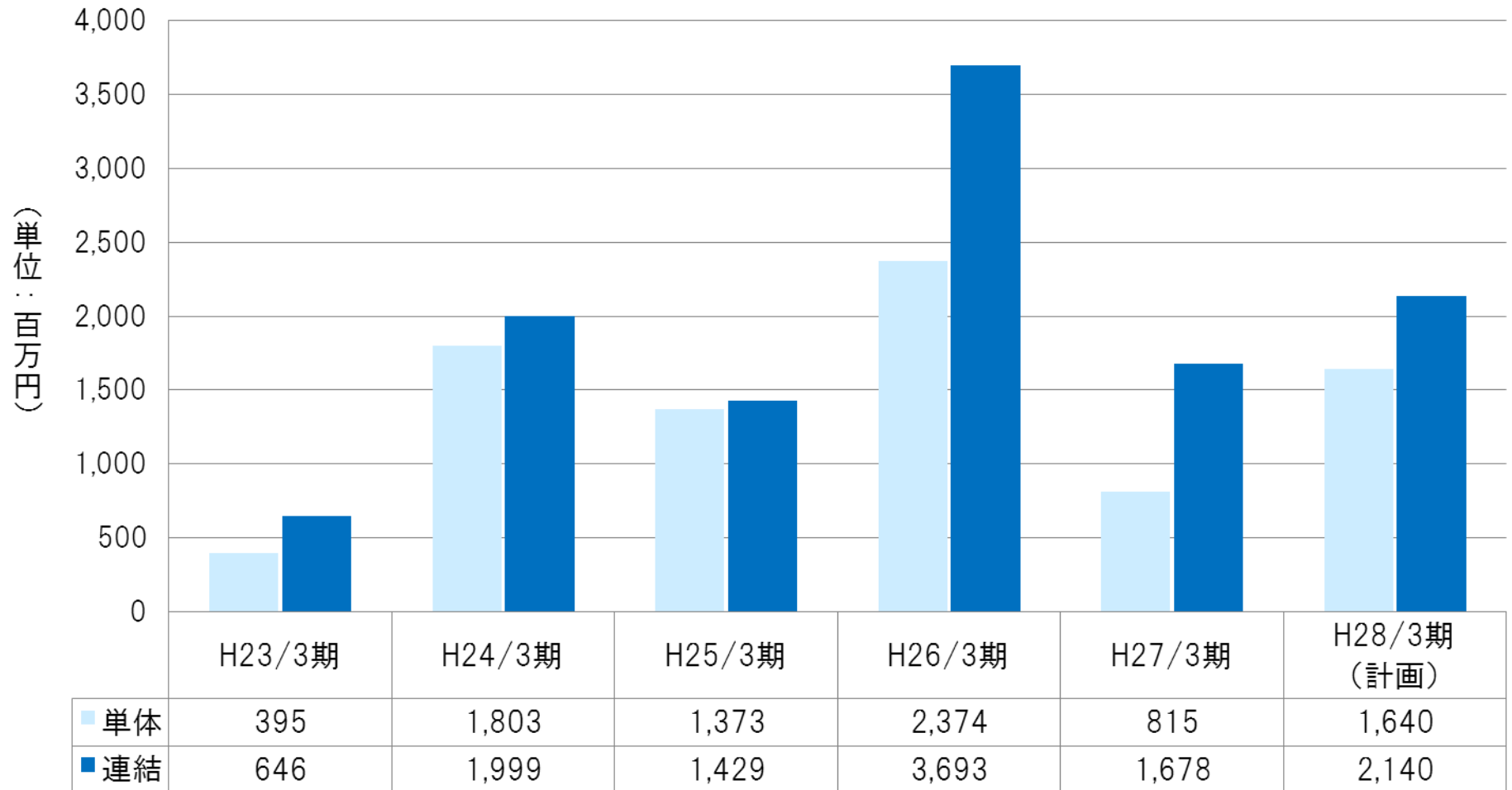
4. 欧 州

平成29年3月期の欧州合計の売上高は38億円、平成30年3月期は40億円を予想しています。前年度実施したフランス及びベルギーの機械の減損により業績改善を加速させると同時、欧州の主な地場大手との様々な施策をアリアケグループが連携し工業用・業務用向けに売上増強を図っていきます。

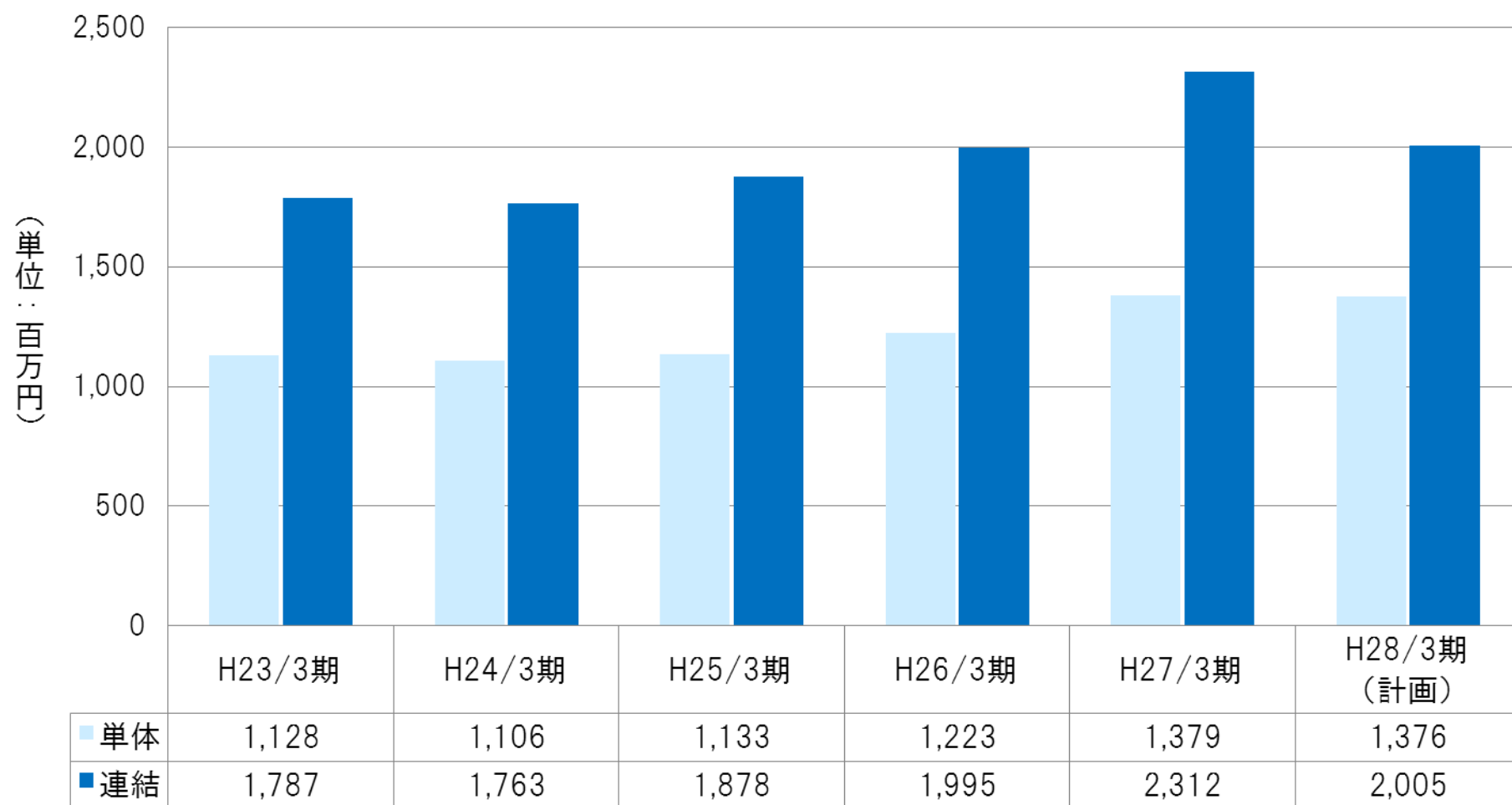
メ 毛

This page is intentionally left blank

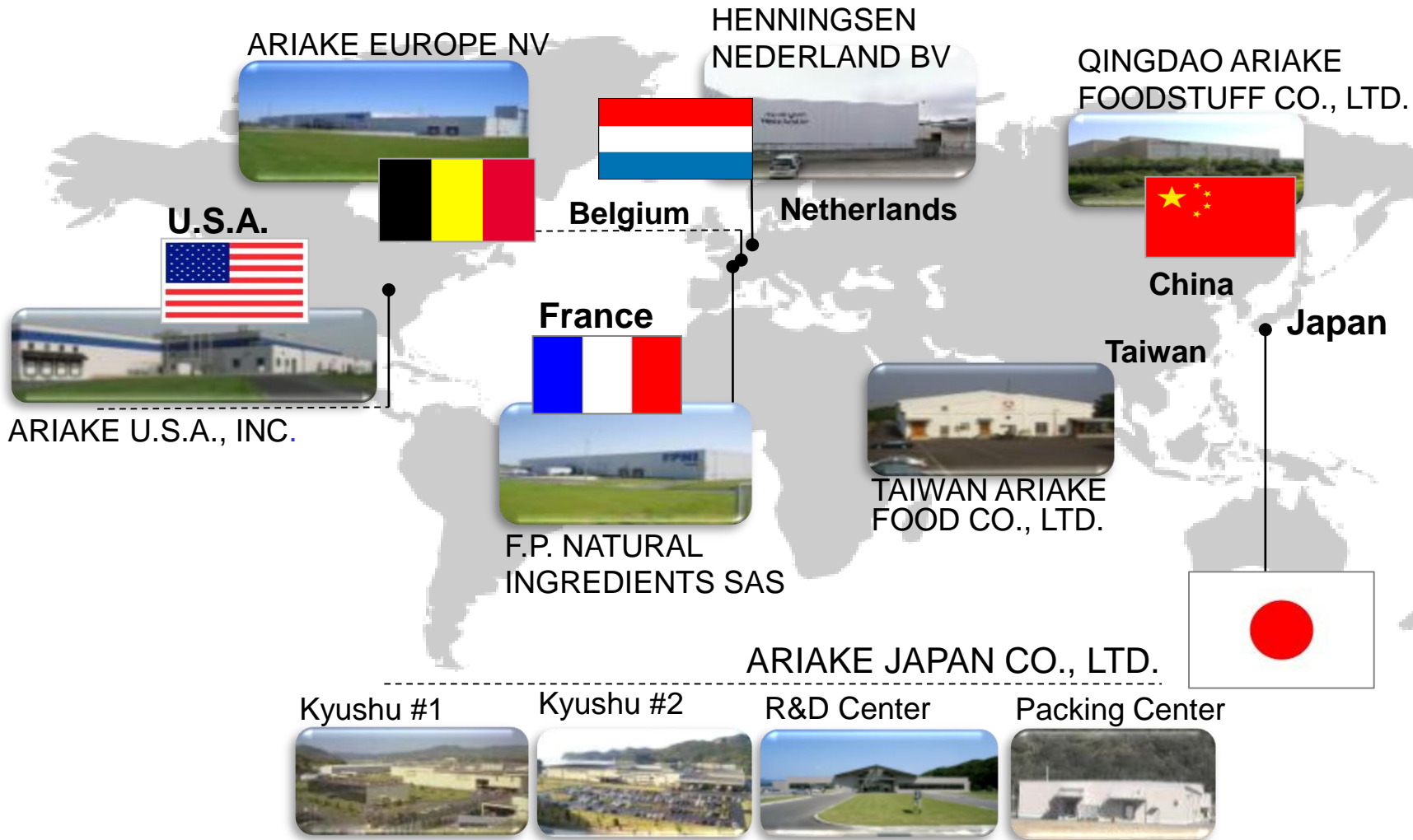
設備投資の推移（連結・単体）



減価償却費の推移（連結・単体）



アリアケグループの「世界7極体制」



本資料は、会社内容をご理解いただくための資料であり、投資勧誘を目的とするものではありません。

本資料に記載されている業績予想（計画）及び、将来の予測につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。予想（計画）にはさまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績は異なる場合があります。

本日は、ご清聴有難うございました。

今後のお問い合わせは、こちらまでお願いいたします。

アリアケジャパン株式会社 経営管理室

TEL 03-3791-3301